

平成 24 年 1 月 26 日
メディアスエフエム番組審議会事務局

メディアスエフエム第 27 回番組審議会 議事録

1. 開催日時
平成 24 年 1 月 25 日（水）16 時 00 分から 17 時 00 分
2. 開催場所
知多メディアスネットワーク(株)3 階すいせん西会議室
3. 出席者 ※敬称略、五十音順
委員) 角田 由紀子、加藤 龍子、田中 勝志郎、寺島 賀子、早川 鉄三、林 繁八
以上 6 名
※紀藤委員は欠席
事務局) 高池 文夫（代表取締役常務）、松山 崇臣（コンテンツ部編成企画 G）
橋本 由香利（コンテンツ部ラジオ制作グループ）
4. 議事内容
 - (1) 報告事項・・・事務局
 - ① 12 月、1 月の活動報告
 - ② 1 月からの変更点報告
 - ③ 今後の予定について
 - (2) 活動報告、番組について審議・・・委員
5. 審議内容

○活動報告、番組についてのご意見

加藤委員／12 月に行なった「ANIMAN」公開収録について客層はどうだったか？
また、出演した＜知多娘＞は全国版になりつつあるので、地域限定の枠にとらわれず逆輸入のような形で外部の力を上手く使いラジオにもっと取り込んでみてはどうか？

寺島委員／＜東海しゅう＞の声優 掘出さんはとても上手。
林 委員／＜知多娘＞をもっと活用していくと良い。

事務局／当日はアニメファンが多かったが、司会のアンダーポイントのファンも多かった。会場内ステージ上で機材を置き公開収録をしたので、フリーマーケット客にはPRできたと思うが少々弱かったかもしれない。
知多娘の活用については、未経験だったのでコーナー担当からスタートさせた。今後はレギュラー番組など起用拡大も検討していきたい。

寺島委員／たまたまエフエムを聞いたときにとっても上手に話している方が出演していたので好感を持った。

事務局／今は普通の方でもお話が上手な方は多い。そういう方を発掘し色々な方に出ただけの番組づくりを引き続き進めたい。

加藤委員／今年の「東海フラワーショウ」はブース配置が良かったのか、昨年に比べ人の流れがスムーズでブースの前も賑わっていた。当日のアンケート結果では、市内の方への認知度は高まった印象。

事務局／会場内のブースの配置の影響か今年は人の流れが味方になった感もある。アンケート結果については、総数137のうち東海市内の方は37人だったが、半数以上に認知いただいていた結果になった。イベントの性質上市外からの来場者が多いので、今後の番組づくりの参考になるようなアンケート内容に改善し市場調査の意味も込めて実施した。
年配向けの番組が少ないので頂いたご意見を今後に生かしたい。

加藤委員／近頃は地元メディアと協働する動きが活発になってきている。
今後の取組みに期待したい。

事務局／今後も興味関心の動向を探っていきたい。東日本大震災から1年となる3月には、関連番組も検討している。4月から市民参加枠を増やしていきたい。

角田委員／車での移動時間に昼の「ラジオ de マカロン」を聞くが、クイズの答えをあまりにも引っ張るので車を降りてしまい答えが聞けないことがある。
ずっと張り付いて聴いている人ばかりではないので配慮が必要なのでは？

○その他のご意見

早川委員／3月24日・25日の「太田川駅 まち開きフェスティバル」を皮切りに、太田川駅・駅前広場では今後様々な企画が予定されている。

事務局／ぜひメディアスエフエムでも取り上げ番組づくりに反映させたい。

林委員／最近CMが多くなり良くなった。番組の合間に流れるガソリンスタンドの局番宣が好感を持ってよい。

事務局／ちたまるスタイルとの連動による地元CMが格段に増えた。

角田委員／ラジオは「耳だより」の番組づくりが必要なのでは？

現在は音楽メインで若者向けの内容が多いように感じるが、たとえば「地域の民話」を連続放送するなど、ずっと聴ける番組があると嬉しい。

事務局／朗読ものやシリーズものなどは必要という声も上がってきている。

4月からスタートさせていけるよう検討したい。

次回開催は平成 24 年 3 月 28 日（水）を予定。

以上

文責：コンテンツ部 橋本 由香利